

## 県民の皆さんへ

「平成 26 年版 成果レポート～成果の検証と改善に向けた取組～」を公表します。

この「平成 26 年版 成果レポート～成果の検証と改善に向けた取組～」は、平成 25 年度に「みえ県民カビジョン・行動計画」に基づき取り組んだ事業の成果を検証するとともに、平成 26 年度の取組の方向とめざす目標値を、県民の皆さんにご報告し、今後の県政運営に対するご意見やご提案をいただくことを目的に作成しました。

平成 25 年度は 20 年に一度の神宮式年遷宮を迎えたことや、地震、津波、風水害等への対応が喫緊の課題であったこと、児童虐待やいじめなどが深刻化していたことをふまえ、① 三重県のブランドカアップ～三重の魅力を大きく発信～、② 地域を守る～防災・減災対策の推進～、③ 子どもを守る～児童虐待やいじめへの対応～、の三点に注力し、県政の推進に取り組んできました。

平成 26 年度は「みえ県民カビジョン・行動計画」の 3 年目であり、県政の諸課題の解決に向け、重要な 1 年となります。三重県が 20 年後も輝き続けるためには、神宮式年遷宮などで三重県が注目され、県民の皆さんが県内のにぎわいや三重県人としての誇りを感じている今こそ、次の手を打たなければ、逆に危機を迎えることになりかねません。

このような状況をふまえ、本年 4 月に定めた「平成 26 年度三重県経営方針」では、平成 26 年度における政策展開のポイントとして、①少子化対策～希望がかなう三重～、②グローバル化への対応～世界に打って出る三重～、③三重県のブランドカアップ Ver.2～魅力を発信し続ける三重～、の三点を掲げ、「みえ県民カビジョン・行動計画」に示した取組を着実に推進することで、県民の皆さんにより一層の成果を届けることができるよう、県庁全体が一丸となって県政運営に取り組んでいるところです。

本年 1 月から 2 月にかけて実施した第 3 回みえ県民意識調査の結果、県民の幸福感の平均値は 6.75 点となり、2 年連続で前回調査の数値を上回り、過去最高となりました。この流れを止めることなく、県民の幸福実感を高めていくため、平成 26 年度三重県経営方針に掲げた政策展開のポイントをはじめ、県政の諸課題にしっかり取り組み、成果を届けていきたいと考えていますので、県民の皆さんにおかれましては、忌憚のないご意見をいただくとともに、今後の県政運営に対する一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成 26 年 7 月

三重県知事 鈴木 英敬